

瀬戸内今昔物語 ゆかりのまち交流

朝鮮通信使 牛窓〜室津をゆく〜

牛窓町しおまち唐琴通りで、11月7日、異国情緒たつぷりに朝鮮通信使行列が行われました。その後一行は、次の寄港地室津港（兵庫県御津町）までフェリーで渡り、室津の町を行列。通信使の足跡をたどり、ゆかりの町との交流が実現しました。

今年、日本国と朝鮮国の国交再開のきっかけとなる松雲大（立公園指定70周年という節目の



美しいチマチョゴリ姿で行列に参加した女性たち

年で、通信使が当時船で通った瀬戸内海を見つめ直し、地域の活性化を図るために行われました。

華やかな衣装を着た約80人の一行は、フェリーで2時間半かけて室津港に到着。その後、町並みを行列し、室乃津祭り会場で交流セレモニーに参加しました。行列参加者の一人は、「長い船旅でしたが、貴重な体験ができました」と喜んでいました。



室乃津祭で歓迎を受ける通信使行列の皆さん

皆さんの協力で大成功

邑久で国体リハーサル大会



フジアーノ岡山FCと静岡県教員サッカー団芙蓉クラブの熱き戦い

10月16日から5日間の日程で、国体リハーサル大会として第40回全国社会人サッカー選手権大会が岡山市・倉敷市・邑久町・灘崎町の4市町で開催されました。邑久町では10月16・17日の2日間、邑久町スポーツ公園を会場に、地元代表チーム・フジアーノ岡山FCの試合を皮切りに計4試合の熱戦が繰り広げられました。皆さんが育ててくれた花や、選手の皆さんへの応援メッセージが、選手や監督、全国から訪れた皆さんを温かく迎え、大会役員・係員・協力員・競技補助員の皆さんの協力で、大会は大成功に終わりました。国体まで300日を切りました。みんなで国体を盛り上げましょう！



来場者を案内する係員・協力員の皆さん



ボランティアスタッフや保護者の皆さんが見守る中、子どもたちは輪投げなどを楽しみました

約500人の親子が楽しむ

ちびっこまつり

主婦らで作る「おつくんくらぶ」（小林良江代表・会員25人）が10月31日、邑久保育園でちびっこまつりを開催し、約500人の親子らがまつりを満喫しました。

邑久町婦人協議会をはじめ36団体の皆さんが協力し、もちつきなどを行い、まつりを盛り上げました。子どもたちは大人が見守る中、輪投げやストラックアウトなどに挑戦。邑久高校吹奏楽部の皆さんは、ちびっこ音楽会と銘打ちアニメソングなどを演奏。はしご車や白バイへの搭乗体験や、わんちゃん大集合のラブドックスクール、動物とのふれあいもあり、親子で楽しい時間を過ごしていました。



木組みに稲を掛けます

はぜ掛け体験に悪戦苦闘

おさふねDASH村

「おさふねDASH村」稲刈りとはぜ掛け（掛け稲）体験が10月24日、長船美しい森付近の田で開催されました。市内の小・中学生や保護者ら23人が参加。4人の地元農業経営者の指導を受け、18ヶの田で稲を鎌で手刈りし、天日で干すため、はぜ掛けをしました。はぜ掛けは見た目よりも難しく、やり直しをしながら作業。今年は大きな台風が何度も通過し心配していた稲の生育も、黄金色の稲に育ち、参加者の皆さんは大喜びでした。

おさふねDASH村は、教育委員会が開催している農業体験事業で、子どもや保護者の皆さんに農業を通じて自然に親しんでもらおうと行っているものです。

今後は、米の脱穀、もみすり、収穫祭などいろいろな計画が予定されています。